



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2017年11月号

なまななる仕事として新しく生まれる仕事

友人からの紹介で、今、お笑い芸人キングコングの西野さんの著書「革命のファンファーレ」を読み始めたのですが、はじめに「を読み始めただけで少し衝撃を受けてしまいました。そこに書いてあったのは、今の若者は将来の夢がないと言われてきているけど、昔のように職に誇りを持ち、一生食べる時代と違って、今ある仕事のほとんどがなくなるよっていう時代に夢を持つことややりたい仕事を夢見ること自体があまり意味がないのではないかと、というふうなニユアンスのことが書いてあり改めて考えさせられました。

今ちょうど保護者面談をしているのですが、あるお母様からこんな話をお聞きました。お子様が検査技師になりたいということで志望校の相談を学校の先生にしたところ、先生から「その仕事は将来無くなるよ」と言われてお子様がどこにしようか迷ってしまっただけのことでした。私たちの時代には全くなかったことが今とんとん起きてきているのです。

あと10年で、今ある仕事の半分が無くなるかも噂されているほどです。信じがたい話ですが、書店や公衆電話が激減したことを考えるとおながち全くないとは言えない時代になってきています。

少し前になりますが3大メガバンクのみずほ銀行が1万6千人という全従業員の約30%をリストラ

すると発表しました。東京三菱UFJ銀行も全従業員3分の1にあたる九千五百人、三井住友銀行も四千人のリストラを発表しています。メガバンクと言えは就職時の人気企業でしたし、入社したらその後は悠々自適の生活が出来ると信じられていた企業です。さらに、仮想通貨がスタンダードになったら銀行は必要が無くなるかも噂されているほどです。

電気自動車の普及で日本の自動車産業も危ないという人まで出てきました。

本当にこれからの世の中はどのようなようになっていくのか？予想もつかないくらいです。

私が良く行っていた、飲食店が閉鎖になりました。とても頑張っておいでだったのですが、コンビニが近くに出来たこととお客さんが取られたそうです。

私の感覚ではコンビニが出来たら来店客が増えるのではないかと昔の感覚で思っていたのですが、大間違いでした。コンビニも生き残るためにレストランや定食屋さんと競争になるような商品を充実させているのです。

これからの時代はお店ももほとんど変わっていかない生き残れない時代になってきているようです。数ヶ月前に出来た100円均一のパン屋さんを経営しているのが印刷屋さんだったり、コピー機屋さんや通信回線や電気を販売なさっていたりするの

と同様にサラリーマンがダブルワークをするのが普通になってきているのも同じ流れなのではないかと感じています。

キングコングの西野氏も絵本を書いたり、ビジネス本を出版したりといろいろなことをなさっているみたいです。

消えゆく仕事は沢山ある中で、新しい仕事もどんどん出てきています。ピコ太郎やヒカキンで有名になったユーチューバーも昔では全くあり得ない仕事でした。

また、独立の敷居も非常に低くなっています。2年前の卒業生は、高校在学中から独学でビジネスをはじめ30万ほどを稼いでいました。そして、高校を卒業と同時に独立して経営者になりました。高校を中退した卒業生も全体の仕事を誇る傍ら廃品回収の仕事を自ら立ち上げてダブルワークをしています。最近の若い者は根性がないと言われますが、とても運いさを感じています。

このように私たちの常識では考えつかないような仕事が出てきたり、その気さえあれば簡単に独立出来るという世の中になってきています。

このような時代を生き抜くためには常に学習して、情報収集をしていくことが求められるのではないかと考えています。今、学んでいることがそのま情報収集の訓練にもなっていることを意識して欲しいと思います。私も若者に負けまいように学習していきたく思います。

やる気相談室

温故知新

故(ふる)きを温(あたため)て新(あらた)きを知る

私が学生の時は故きを温(たす)ねてと習った記憶があるのですが、あたためてと読んでも良いそうです。温故知新という四字熟語にもなるくらい有名な言葉です。特に受験生は入試にもよく出てくる四字熟語なのでしっかりと覚えて欲しい熟語です。

「小学生のための論語」という本にはこんなことが書いてありました。この「温故知新」という言葉には勉強の本質が書いてあるのだと。「古(ふる)きを温(たす)む、新(あらた)きを知る」ということなのです。新しい知識を得る「古(ふる)きを温(たす)む」ということには、後人に伝えることから始まったのではないかと思うのです。ハチに刺されたら痛い

とやまムシに噛まれたら死んでしまうことを我々は先人から教わっているので、被害が最小限に食い止められているのではないのでしょうか？その他にも稲の育て方や家の建て方など数え上げるときりがありませ

ん。知っていることと知らないことで決定的な差が出ていたのです。昔の人たちはそのような情報を学ぶために命をかけて日本海を渡っていったのです。幼児期に死亡したり伝染病での死亡が多かったに加え、今のよう設備が整って

最近では船や飛行機で海外に行くのはそんなに危険な事ではありませんが、遣唐使の時代などは目的地にたどりの着けずに死ぬ確率が高いにも関わらず、学びたい一心で舟に乗り込んでいたのです。それだけ学ぶことに価値があったのです。今は、時代が変わり、食べるものに困る時代でもありませんし、周りに危険が存在する時代ではないので、勉強のありがたみをあまり感じなくなりました。また、義務教育になり、勉強自体が義務になってしまいました。

以前行った長寿のセミナーであった話なのですが、江戸時代とかが短命だったのは、幼年期に死亡したり伝染病での死亡が多かったに加え、今のよう設備が整って

自分の脳を自分で育てる

川島隆太著

書籍紹介

この本は以前大ブームになった「脳トレ」の開発者川島氏が書かれた本です。自分の脳を育てるなんてそんなことできるの？どうやって育てるの？と思う方もいらっしゃると思うのですが、実は簡単な計算問題を解いたり、音読をしたりすることが脳を育てることにつながるそうです。てっきり複雑な事をやった方が脳は活発に働くような気がするのですが、実は全く違うのです。複雑な問題を解くよりも簡単な計算を早く解く方が脳は活発に働くのだそうです。「それって今私たちがやっているそろばんや丹田音読にそのままつながっている」ととても嬉しくなりました。この本を読むと改めてそろばんや音読の良さを認識出来て、今まで以上に自信を持って仕事に邁進できるようになりました。そろばんの生徒さんは今まで以上に集中して受けて欲しいと思いますし、そろばんを受けていない生徒さんも単純な計算や音読をおろそかにしないで、しっかりと取り組んで欲しいと思います。また、この本には繰り返すことの重要性を脳に高速道路を作るという表現で強調されていました。一回読んでわかっただけではまだまだ一般道路の状態だ、何回も繰り返してすらすら出来るようになった時が高速道路になった時だ、脳にたくさんの高速道路を通すことでたくましい脳になるのだと。この本は子供向けに書かれた本なので小学校高学年でも読めるのでお勧めです。

